

# 若年船員就職促進懇話会 日程表

【日時】令和3年12月3日(金) 14:00~17:00

【場所】横浜第二合同庁舎 16階 共用会議室AB  
神奈川県横浜市中区北仲通5-57 横浜第二合同庁舎

【主催】国土交通省関東運輸局

【共催】関東地方船員対策協議会

【参加予定者】関東地方船員対策協議会所属団体：会員事業者

関東管内水産系高校5校

国立館山海上技術学校、独立行政法人 海技教育機構

一般社団法人 全国漁業就業者確保育成センター

司会進行：北田船員労政課長

時間	プログラム	講演者・担当者等
13:30~	受付開始	
14:00~14:10	【挨拶】 関東運輸局海事振興部長 関東地方船員対策協議会会長	下留部長 榎本会長
14:10~14:20	【関東運輸局プレゼン】 1. 内航船員の確保・育成について 2. 若年内航船員確保推進事業について	前田海事振興部次長
14:20~14:30	【一般社団法人 全国漁業就業者確保育成センタープレゼン】 1. 漁業就業者確保の取り組み	全国漁業就業者確保育成センター 馬上事務局長
14:30~14:45	【関東地方船員対策協議会プレゼン】 1. 内航海運事業者の船員雇用状況（新規学卒者）	関東地方船員対策協議会 笠間事務局長
14:45~15:05	【管内教育機関等の概要】資料の配付のみ ※各学校指導担当者より追加説明が必要な場合のみ 1校5分程度説明	関東運輸局管内 水産系高校5校 館山海上技術学校
15:05~15:20	休憩	—
15:20~16:50	意見交換 ・船員として求める人材について ①性格・心構え②教育機関での技能・知識習得 ・新規就業者の離職状況・離職防止対策 ・企業説明会・面接の実施等の取り組み状況 ・若年内航船員確保推進事業への要望等 ・その他	
16:50~17:00	【運輸局から】 ・「無料の船員職業紹介事業の届出 及び運輸局への求職申込み」について	船員労政課 川口専門官
17:00	閉会	

## 令和3年度若年船員就職促進懇話会の概要

### 関東運輸局プレゼン【関東運輸局より説明】

1. 内航船員の確保・育成について
2. 若年内航船員確保推進事業について

### (一社)全国漁業就業者確保育成センタープレゼン【(一社)全国漁業就業者確保育成センターより説明】

1. 漁業就業者確保の取り組みについて

### 関東地方船員対策協議会プレゼン【関東地方船員対策協議会より説明】

1. 内航海運事業者の船員雇用状況（新規学卒者）

### 管内教育機関等の概要【関東運輸局より説明】

→説明後、学科改編等があった学校より下記のとおり改編内容についての説明があった

#### ◎千葉県立銚子商業高校より

1クラス40人で海洋環境コース、食品総合コース、海洋船舶コースの3コースあったが、令和3年度入学生から海洋船舶コースが廃止となり1クラス2コース体制となり、本年度1年生から船員教育が終了した。

#### ◎東京都立大島海洋国際高校より

海洋国際科があるがカテゴリー上は国際科の方に位置づけられている。メインは3年生になると海運教育を行っている。しかし、来年度1年生からは学科改編を行い、水産科にシフトしていく。2年生で4つのコースを選択してもらい、その中で海洋水産に関する教育を始めて行く。コースの中の一つに船舶運航コースを設け、船員教育に力を入れていく形になる。現在、本校の船員志望の生徒は少ないが、今後は増えていくものところらでは考えている。

#### ◎神奈川県立海洋科学高校より

従来は単位制であったが、令和4年度からは学年制となる。今までは船舶運航コースと一般コースの2つのコースであったが、4科になる。船舶運航科（仮）として一クラス募集を行う予定である。人数と募集形態については従来通に近い形となるが、1年生からより船舶に特化した内容とする。また、航海と機関を選択するのを1年生のうちに水産海洋系の基礎を学び、2年生で航海系と機関系に分かれていく。今年度は定員が割れて31名しか入っていないが、現在、生徒募集を大きくしている。

## ◎意見交換

### →船員として求める人材について

#### ◎全国内航輸送海運組合より

新規学生で心配することは年々減ってきているように思える。年々、道徳的な学生が増えているようだ。我々採用する側から見ても、船に乗る理由として、以前は高い給料がほしいや長期休暇がほしいといったことであったが、最近では大きな貨物を運んで社会貢献したいといったことを言ったりしている。そのため、特に性格的なもので学生に求めることは特にないが、知識や技能について学校でできる勉強をしっかりとっておいてほしいことと、最近の法改正もあるのでE C D I S資格等を取得してほしい。

#### ◎神奈川県立海洋科学高校より

例年船員希望は数名程度あるが、その中で専攻科定員10名から落ちてしまう生徒がいて、2月頃に求職を求める生徒もいるので、その時に採用して頂く会社の求人の情報等を頂くことは可能か。

#### ◎関東地方船員対策協議会より

新卒の採用時期についてはある程度決まっているが離職等もあるため、チャンスが全くないということはない。運輸局や総連等に問い合わせして頂ければ、そのような情報も流すことは可能かと思う。

### →女子船員の採用状況について

#### ◎茨城県立海洋高校より

求人に関連して女子生徒が船舶職員を目指す者の数が増えており、受け入れ先についてのくらいあるのか教えて頂きたい。

#### ◎関東地方船員対策協議会より

手元に資料がないため感覚的なものとして、採用について多いという訳ではないが、採用している事業者もいるため、増えてきているのではないか。積極的に採用している会社もあるため、組合としてもそのようなことをくみ上げていきたいと思っている。

### →その他

#### ◎内航大型船輸送海運組合より

他社の状況を全て把握している訳ではないため、一事業者として発言させて頂きたい。女性船員について枠がない訳ではなく、現在、当社と子会社を併せて全部で150名の船員がいるが、2名の甲板部の女性船員がいる。1名が小樽海上技術学校でもう1名が商船

高専である。男女関係なく採用試験を行い問題なければ採用している。当社を希望する者がいれば遠慮無く応募してほしい。最近、船員としての基本的に船内の自分の居室の掃除や、当社の場合は最若年の甲板部員、機関部員には、就業規則どおりの衛生手当を払って、船内の共通場所のトイレや浴室の掃除当番をやらせてもらっているが、サボる者がおり、掃除ができないといった苦情が現場から出ており困っているので、学校側には生活習慣面について指導して頂きたい。

当社の離職状況についてはだいたい30～40%が5年間の離職率のデータとして上がっている。離職理由としては、地元のフェリー会社に就職口ができたと地元志向が多いように感じる。特に九州や沖縄の方については特に多い。

企業説明会については、新型コロナの関係もありここ2年間は行っていない。商船高専や水産大学校について以前は出向いて説明していたが、新型コロナ関係で行っていないが、個別に学生が会社より説明してくれとのお話があれば、会社に来て頂ければ担当者より説明は行っている。

入社時期については、当社は4月入社組（短大と水産高校系）と10月入社組（商船系大学等）の2つとなっているが、いい生徒であれば2月であっても採用しているので、専攻科に落ちた学生についても応募してもらいたい。

## →インターンシップ等について

### ◎東京都立大島海洋国際高校より

本校の2年生の生徒について内航船でインターンシップを希望している生徒がいる。できれば春休みの期間にインターンシップをさせて頂きたいと考えており、新型コロナで受け入れが厳しいという話を聞いているが、前向きに検討して頂ける会社があればぜひ連絡を頂きたい。

本校の生徒については、卒業したら海技短大に進学して内航船に就職する生徒がほとんどである。インターンシップに行きたいという生徒もいるが、そこまではなかなか踏ん切りがつかないようだ。生徒は荷役をやったことがない、見たことがないのでイメージがわからない。休みの期間中に半日でも1日でもいいので色々な荷役の様子が、船内からはコロナで密になるので、外からでも見られればイメージしやすいのではないかと。

### ◎関東地方船員対策協議会より

コロナ禍であるため、昨年からはインターンシップについて止まっている状態である。状況が改善すればよいが、今、この場で受け入れ可能とは言いきれないが、傘下の事業者にこういう要望があったことを伝え対応したいと思う。

### ◎全国内航輸送海運組合より

今、大島海洋国際高校からインターンシップの話が出たが、各校もインターンシップをかなり希望しているのか。

インターンシップということで生徒を数日間船に乗せることは、我々としてもリスク

であり、何かあったとか、けがされたりといったことでハードルは高い。ただ、岸壁着岸中に荷役を見てみたいといったことは、ぐっとハードルは下がるので、コロナ禍過ぎれば、当社はセメントタンカーですが、希望があれば再開したいと思う。

◎神奈川県立海洋科学高校より

学校によっては保険が適用にならず、機関の運転について適用とならないため、そこが整理されれば大きく動きたいと考えている。

◎千葉県立銚子商業高校より

場所がら本校では地元の漁船に乗船するインターンシップを行っている。最近ではコロナの関係でできていない。

◎茨城県立海洋高校より

本校は地域がらまき網が盛んなため、生徒の多くもまき網に進むため、内航船へ進む者は少ないが、ミスマッチをなくすためにも、インターンシップはやって頂きたい。

◎千葉県立館山総合高校より

時期と場所で左右されると思うが、機会があれば生徒の中にも希望する者がいると思うので、情報を流してインターンシップに参加させたいと思う。

◎関東地方船員対策協議会より

船対協の行事として、例年、荷役を含めた船内見学会を開催していたが、コロナ禍で1年2年行っていない。海象・気象条件に左右されるため、日程調整が非常に難しい。扱っている荷物が多岐にわたるが、必ず色々なものが見学できるかと言えば中々難しいところではあるが、コロナが落ち着き次第、再開したいと思う。

船対協で今年はこのようなところで見学会を行いますよといったことを再開したいが、逆に生徒の方が大型船に乗ってみたいとかタンカーに乗ってみたいといった話があれば、そのような船種を持っている会社にお問い合わせすることも可能であるため、その際はこちらにお話して頂ければ。

→最近の学生の就職活動の方法について

◎全国内航輸送海運組合より

各校にお聞きしたいが、最近の学生の就職活動の方法はどのように企業等探して行っているのか。

今、内航の採用状況について偏在化しており、大手のとれることは多く採用し、地方の小さい企業や小さい船を預かっているところは、かなり船員不足であると聞いている。何百とある求人票の中から一つの企業を探すということは難しい。業界としてはなにか平準化するために学校と一緒に考えられればいいのかと思った。

◎神奈川県立海洋科学高校より

例年頂いている求人票の会社、又は卒業者のいる会社から求人票を頂いている。それを生徒に開示したり、生徒から乗りたいという船種があれば求人票を提出して頂けないかと打診をして就職口を探している。

◎国立館山海上技術学校より

うちの学校では求人票を張り出して、生徒が選んできて、連絡をとりアポをとり進めている。

◎茨城県立海洋高校より

例年、求人票を頂いている会社や先輩が行っている会社の求人票を見せながら話を進めている。

◎千葉県立銚子商業高校より

送付頂いた求人票を貼り出し、関係ありそうなWEB求人をダウンロードして提示している。

大型船に乗りたい生徒については資格をとるため館山総合高校の専攻科に進学してからの流れが本校にある。本校卒業後に船に乗る場合は地元のまき網船に乗るのがほとんどである。

◎千葉県立館山総合高校より

今までおつきあいのある会社からの求人票や会社案内を船の就職相談部屋があるため、そこに置いている。生徒から希望の話があれば、会社訪問やパンフレットで決めている。求人自体は数が多いため、ファイリングして見せている。

◎東京都立大島海洋国際高校より

本校では船員の希望者が少ないため、進学してから資格をとって就職しているのが多いので、会社から当校への求人票がほとんど来ないため、過去に就職した生徒については卒業生だよりや関東運輸局で掲載している求人票を活用し学校が絡んで就職したケースがある。

→機関の部員採用について

◎神奈川県立海洋科学高校より

本校の専攻科卒業生で3級海技士をとった者は割と大型船に乗船しているが、本科卒業生の5級海技士の筆記免除のみの者は、部員で実際に働いてから乗船履歴をとる形であるが、機関については元々乗組員数が少ないため、職員しかとらず部員はとれないといった話があったが実情について教えてほしい。

◎関東地方船員対策協議会より

小型船について言えば、機関は最低職員2名で運航しているため、そもそも部員として採用していない実情がある。逆に、新卒者を採用受け入れができない事業者も多々いる。大型船と小型船でそのあたりの事情が変わってくるのではないかと思う。

◎内航大型輸送海運組合より

当社も船が多いが機関部員という定員がない。少なくとも4級以上、機関長になるには3級が必要であるため、基本的には4級以上の者を部員として採用し、その後、三機士、二機士にプロモートしていく。そのため、水産高校本科卒業の5級の筆記試験免除の者は厳しいかと思う。

→学校から業界への要望等について

◎関東地方船員対策協議会より

荷役見学会やインターンシップといった話しが先ほど出たが、学校から事業者へ何かこうことをやってくれないかといった要望等があれば意見等頂きたい。

**無料の船員職業紹介事業の届出及び運輸局への求職申込み【関東運輸局より説明】**

(以上)